

OAI統合のセットアップ

〔メタデータ収集のためのオープンアーカイブイニシアチブプロトコル（OAI-PMH）〕は、リポジトリ間でのコンテンツの効率的な配布を促進することを目的とした相互運用性標準を開発および促進するための低バリアメカニズムです。データプロバイダーは、OAI-PMHを介して構造化メタデータを公開するリポジトリです。その後、サービスプロバイダーはOAI-PMHサービスリクエストを行って、そのメタデータを収集します。OAI-PMHは、HTTP内で呼び出される6つのリクエストタイプ（「動詞」）を使用します。この機能を使用すると、Almaは（データプロバイダーとして）メタデータを公開でき、そのメタデータは外部ツールリポジトリ（データ収集機能）によって収集されます。

OAI統合プロファイルの設定は、OAIを介した公開に向けた最初のステップです。OAI統合プロファイルを設定すると、AlmaはレコードをOAIタイプとして公開し、そのタイプに応じてそれらを収集します。

まずOAI統合プロファイルを設定すると、公開プロファイルを設定できるようになります。これが完了すると、OAIセットアップが完了し、データベースを読み込みできる状態になります。公開OAIプロファイルの設定については、[公開と目録の充実化](#)を参照してください。

Note

機関がすでにOAI統合プロファイルを持っている場合、2番目のプロファイルを追加することはできません。ただし、既存のプロファイルを編集することはできます。

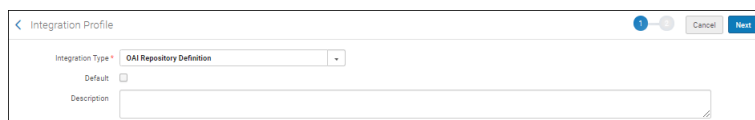
詳細については [OAI経由でAlmaリポジトリを使用可能にする](#)を参照してください。

OAI統合プロファイルを設定するには：

1. 統合プロファイルリストページ（[設定メニュー](#) > [一般](#) > [外部システム](#) > [統合プロファイル](#)）で、[統合プロファイルを追加](#)を選択します。2ステップ統合ウィザードの最初のステップが表示されます。
2. [統合タイプ]ドロップダウンメニューから、[\[OAIリポジトリの定義\]](#)を選択します（コードと名前は選択しないでください）。ページが更新され、プロファイルに関連するフィールドが表示されます。

Note

この統合タイプでは、デフォルトのチェックボックスは機能しません。



OAIの統合プロファイルの更新されたページ1

3. 統合プロファイルのためのオプション説明を入力し、次へを選択します。統合プロファイルウィザードのステップ2が表示されます。

Note

以前にOAI統合プロフィールを設定している場合、既存のプロファイルを編集するよう求められます。

Integration Profile

OAI REPOSITORY DEFINITIONS

Active Active Inactive

Repository Name

Repository Base URL

Protocol Version 2.0

Admin Email

Earliest Datestamp

Date Format is ddMM/yyyy

Deleted Record transient

Granularity YYYY-MM-DDThh:mm:ssZ

Metadata Prefixes

Allowed IPs

OAI Schema oai

Max bulk size for ListIdentifiers request 100

Max bulk size for ListRecords request 100

Repository Identifier alma.EXLDEV1_INST

統合プロフィールウィザードページ2 (パラメータ)

4. 必要に応じてOAIリポジトリ定義を入力します。

- アクティブ/非アクティブ (必須) - アクティブを選択します。
- リポジトリ名 - OAI APIを呼び出すときのリポジトリ。
- リポジトリのベースURL - すべてのOAIリンク用の自動生成された固定ベースURL。編集不可。
- プロトコルバージョン - 使用されるプロトコルバージョン。このパラメーターにはバージョンが自動的に入力され、編集できません。
- 管理者Eメール (必須) - 統合プロフィールに関連するやりとりを行うためのメールアドレス。
- 最早の日付スタンプ (必須) - リポジトリレコードの最初の日付スタンプ (例えば、日付でリポジトリをクエリするとき使用できます)。
- 削除されたレコード - これは自動的に一時的レコードとして識別され、編集することはできません。
- 粒度 - データ/タイムスタンプの粒度は、自動的にYYYY-MM-DDThh:mm:ssZとして自動的に識別され、編集できません。このフォーマットの説明については[ISO 8601](#)を参照してください。
- メタデータプレフィクス - これを選択してページを開き、プレフィクスを有効または無効にします。このページはマッピングテーブルです。詳細については、[マッピングテーブル](#)を参照してください。このページではプレフィクスのみを有効または無効にできます。
- 許可されたIPs - リポジトリにアクセスできるユーザー/場所のIP範囲を設定するページを開く場合に選択します。このページはマッピングテーブルです。詳細については、[マッピングテーブル](#)を参照してください。このページで範囲を追加、編集、または削除できます。IP範囲には、文字列間にスペースのないハイフン (-) を使用します (構文的修正はエラーメッセージに記載されます)。許可されるIPは、Alma OAIにアクセスできるIPアドレス/範囲です。このリストにないIPは、Alma OAIにアクセスしようとするとエラー応答を受け取ります。もしもIPがこのマッピングテーブルにひとつも定義されていない場合は、誰もOAIリクエストを經由してAlmaにアクセスすることはできません。
- OAIスキーマ - これはOAIとして識別され、編集することはできません。
- 区切り文字 - 区切り文字はコロン (:) として識別され、編集できません。
- リポジトリ識別子 - OAI-PMH要件に準拠するリポジトリを識別する文字列を入力します。この値は、ピリオドで区切られた、特殊文字を含まない2つの文字列でなければなりません (例えば、01BC.INST)。

- **ListIdentifiers** リクエストの最大バルクサイズ (必須) - 100から900までの値がExLibrisによって指定されています。この設定を**変更**するには、サポートにお問い合わせください。
- **ListRecords** リクエストの最大バルクサイズ (必須) - Ex Librisによって100から900までの値が指定されます。この設定を**変更**するには、サポートにお問い合わせください。

5. **保存** を選択して、プロフィールを完了します。

AlmaではOAIは一つしか設定できないため、統合プロフィールを**変更**したい場合は **アクションメニュー**から**編集**を選択し、既存のプロフィールを編集しなければなりません。